

## 福音と律法の梯子

2009年2月1日 アシエル・イントレーター

福音のメッセージとユダヤの伝統との関係は梯子の4つの段、すなわち優先順位として想像すると簡単に説明することができます。

1. 恵みによる救い
2. 道德規定
3. 儀礼規定
4. 宗教的な伝統

### 恵みによる救い

イエシュア(イエス)は私たちの罰を取られて十字架に付けて下さり、死から復活したことにより永遠の命を与えて下さいました。このメッセージは何よりも優って重要なものです。私たちは愛おび聖なる神によって創造された存在です。私たちは罪を犯しました。すべての義は主から来るのです。主の義を信頼せずに、自分で義となる希望を人は持つことはできません。これこそローマ書の中心的なテーマなのです。

### 道德規定

そのような理由により、恵みによる救いは道德規定よりも重要です。しかし道德規準は必須です。そして、誰がこの規準を定められたのでしょうか。自分自身が完全に義であるお方のみが、定めることができるのです。それゆえ、道德規準は神お一人から来るものでなければなりません。神の道德規準は全人類にとって絶対であり有効なのです。それらは聖書に書かれています。主の道德規定の最も簡潔な一覧表は十戒です。(マタイ 19:17 参照)

律法の中でより重要なものと、あまり重要でない命令があります。イエシュアは「**律法の中ではるかに重要なもの、すなわち正義もあわれみも誠実もおろそかにしている。(マタイ 23:23)**」とならぬよう熱心に勧められました。神のご命令に従うためには、私たちはどれがより重要で、どれがそうでないのかを理解する必要があります。

### 儀礼規定

何が第一で何が第二であるかという基本的な分かれ目は道德規定(愛)と儀礼規定(しるし)です。「『**心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして主を愛し、また隣人をあなた自身のように愛する。』**ことは、どんな全焼のいけにえや供え物よりも、ずっとすぐれています。(マルコ 12:33)」

儀礼規定あるいは契約の「しるし」は道德規定と同じような拘束力のある命令ではありません。  
**「割礼は取るに足らぬこと、無割礼は取るに足らぬことです。重要なのは神の命令を守ることです。(1コリント 7:19)」**割礼は命令ではないのでしょうか。その通りです。ある一面においては、それは聖書に記録された儀礼規定の一部なのです。いいえ、そうではありません。ある一面においては、それは絶対的な道德規定の一部ではありません。

割礼、例祭、食物規定は偽証、盗み、姦淫そして殺人と同じレベルの命令ではありません。優先順位は儀礼規定よりも道德規定の方が上にあることを理解しないと、律法そのものに重大な誤認が生じ、結果として宗教的な偽善となります。イエシュアはパリサイ人が誤った解釈をし、その結果律法を守らないことを責められました。「目の見えぬ手引きども。あなたがたは、ぶよはこして除くが、らくだはのみこんでいます。(マタイ 23:24)」(残念なこと、クリスチャン界の大半もすっかり律法を拒絶してしまい、その結果福音を伝える人であっても罪や道德違反を犯しています。)

### 宗教的な伝統

ユダヤの律法の儀礼的側面は二つの部分に分けることができます。聖書的なものと、ラビによってつけ加えられたものです。聖書にあるしるしは特に神によって制定されたものであり、主の御国のご計画に関する霊的なメッセージを含みます。ラビによってつけ加えられたものは文化的なものであり、直接的な権威を持ちません。

神の律法の地位にまで伝統を引き上げることは非常に危険です。イエシュアはこれを「人間の命令を教え込まれてのことにすぎない。(イザヤ 29:13 から引用)」と言及され、尋ねられました。「なぜ、あなたがたも、自分たちの言い伝えのために神の戒めを犯すのですか。(マタイ 15:3)」神の律法と宗教的な伝統を同等なもののみなすのは、ユダヤ人であれクリスチャンであれ、または異教の人々であれすべての宗教で見られる悪なのです。

宗教的な伝統には拘束力はありません。しかし、救いの福音を述べ伝える時、私たちは述べ伝える人々の文化を、愛をもって容認すべきです。これは特に宗教的な文化を旧約聖書(タナハ)を基に発展させたユダヤ人に当てはまることです。「ユダヤ人にはユダヤ人のようになりました。それはユダヤ人を(救いのために)獲得するためです。律法の下にある人々には、私自身は律法の下にはいませんが、律法の下にある者のようになりました。(1コリント 9:20)」

まとめますと

1. イエシュアを通じた救いのメッセージは私たちにとって最も重要なもの。
2. 人から出た良い行いは私たちを救うことはできない。
3. 神の絶対的な道德規定は全人類を拘束する。
4. 道德規定は儀礼規定より重要。

5. 聖書的なしるし、あるいは儀礼は靈的な御国の真理を指し示す。
6. 宗教的な伝統は決して拘束力をもたず、あるいは権威を持たない。
7. 宗教的な伝統を道德規定にまで引き上げることは危険な誤り。
8. 他者の文化を愛でもって容認することは彼らに永遠の命を述べ伝えるための重要な架け橋となる。

## 金のりんご

この聖書のたとえ話を考えてみて下さい。「時宜にかなって語られることばは、銀の彫り物にはめられた金のりんごのようだ。(箴言 25:11)」ここで私たちが言わなくてはならないことばは、金のりんごにたとえられることです。もし私たちの言うことばが銀の彫り物にたとえられる場合どうなるでしょう。メシアニック運動にある私たちが、ユダヤ的な形式にあまりにもこだわりすぎると、メッセージそのものの中心を逃してしまうことになりがちです。私たちのユダヤ文化やアイデンティティーはメッセージではありません。時々私たちは金のりんごのない銀の彫り物を提供してしまいます。

その一方で、彫り物も重要なのです。もしフランス人がイギリス人に魚を与えたいと思ったら、箱に"poisson"(フランス語で「魚」)と書くでしょう。しかし、イギリス人は疑うことなくそれは"poison"(英語で「毒」)と思うことでしょう。しばしば善意あるクリスチャンは私たちの民(ユダヤ人)に永遠の命の「魚」を持って来ようとしませんが、私たちの民はそれを「毒」と見てしまうのです。

私たちは正しいメッセージを正しい表現方法で伝えなくてはなりません。正しい文脈の中に正しい内容、すなわちイエシュアの福音をユダヤの歴史的枠組みの中に置いたものです。